

相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL (0791) 23-0800



HPのQRコード

47回生 「わがまちのSDGs」 講演会

9月26日(火)7限と10月3日(火)7限、47回生が総合的な探究の時間を取り組む「わがまちのSDGs」に関する講演を、地元で活動されている二人の講師にさせていただきました。

26日は相生湾自然再生学習会 代表の松村晋策氏に「海の豊かさを守ろう」という演題で講演していただきました。



た。播磨灘の海域環境変化と現状の問題点、天然記念物「シバナ」の保護・保全の取り組み、相生湾に藻場(アマモ場)づくりの取り組み、世界の海につながっているゴミ問題など、生徒にとって身近で興味のある内容を詳しい資料をもとに講演していただきました。

「開設のいきさつ、空き家管理・外国人夫婦の移住の手伝い、龍山公園復活プロジェクト、船人間コンテストなど様々な取組を、画像を交えながらユーモラスに語っていただきました。SDGsの目標である「働きがいも経済成長も」・「つくる責任つかう責任」・「住み続けられるまちづくりを」・「すべての人に健康と福祉を」など多くのテーマと関連する内容で、これから探究活動を始める生徒たちに大いに刺激を与えていただきました。

お二人とも教室では学べない多くの知識と経験、そして何よりも情熱を持っておられ、相高生の心に熱く語りかけていただきました。講演会で終わることなく、今後の探究活動の中で生徒への助言、提言をしていただきたいと考えています。渡部政弘氏、松村晋策氏に心から感謝いたします。ありがとうございました。



ス」開設のいきさつ、空き家管理・外国人夫婦の移住の手伝い、龍山公園復活プロジェクト、船人間コンテストなど様々な取組を、画像を交えながらユーモラスに語っていただきました。SDGsの目標である「働きがいも経済成長も」・「つくる責任つかう責任」・「住み続けられるまちづくりを」・「すべての人に健康と福祉を」など多くのテーマと関連する内容で、これから探究活動を始める生徒たちに大いに刺激を与えていただきました。



車椅子体験講習会

10月25日(水)放課後に「車いす体験講習会」を実施しました。相生市社会福祉協議会から4名、ボランティアグループ「ころ」から10名のスタッフの方を本校にお招きし、総勢70名ほどの参加者となりました。



車椅子の基礎基本の説明です。



開会式

基本的な車いすの操作方法から、砂利道やスロープ、段差、坂道、リフト付き自動車など様々な場面の介助方法を教わりました。介助方法・具体的なサポート方法を記した冊子を先に配布し、参加した生徒自身も予習して臨みましたが、実際に操作や介助を行うと、車椅子での移動の大変さを体感し、車椅子の方に寄り添って考えられるようになりました。

声掛けやサポートの重要さが体験できた有意義な車椅子体験講習会となりました。校内だけでなく校外でもこの講習会で学んだことを生かして行動していきます。



車椅子リフト車と車椅子専用車の乗降体験。段差の上がり下がり、指導を受け実践中。

さわやか挨拶運動

10月27日(金)秋晴れのすがすがしい天気の中、「さわやか挨拶運動」を実施しました。相生駅北側口タリーでは相生高校生徒会が、相生駅南側では一年一組が、元気な挨拶を届けました。



生徒会執行部によるゴミ拾い。



緩やかなスロープも車いすでは力がかかります。



閉会式。ありがとうございました！

数学・理科甲子園

10月28日(土)に、数学・理科甲子園が甲南大学で開催されました。相生高校は2年理系クラスの精鋭6名で挑みました。予選では、個人戦で3名、団体戦で3名チームが力を合わせ、戦いました。残念ながら全6チームのうち上位15チームが進出する本選には進みませんでした。団体戦やチャレンジマッチ(敗者戦)では、皆で知恵を絞りながら楽しく難問に臨みました。決勝に残れなかったチームが帰って行く中、相生高校の6名は決勝とそのプレゼンに熱心に聞き入り、結局閉会式まで残りました。



他校の生徒と競い合う中で多くの刺激を受け、実りの多い一日となりました。この貴重な経験を今後の学校生活に役立ててくれることを期待します。



会場の様子